Public Comment Public Comment Public Com

Public Comment パブリックコメント

# 安城市子ども読書活動推進計画(案)パブリックコメント制度の結果公表

本紙４月15日号と市ホームページで意見を募集した「安城市子ども読書活動推進計画(案)」について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。寄せられたご意見・ご提案の主なものとそれに対する市の考え方を公表します。なお、提出されたご意見は趣旨を損なわない範囲で要約しました。

**●募集期間**
４月16日～５月16日

**●意見の数**
提出数９通　件数29件

## 意見❶ ■ボランティアに関する意見

小学校で読み聞かせボランティアをしていますが、自分自身の能力を向上するための場と勉強のチャンスが欲しい。

●市の考え方

この計画を推進する中で、小学校など地域で活躍するおはなしボランティアの活動状況の把握と連携にも努め、支援サポート体制の整備を図りたいと考えています。

## 意見❷ ■図書館に関する意見

本を購入して増やすのも必要だが、貸し出す冊数を少なくして本の循環を早くするのもよいのでは。

●市の考え方

昨年４月に、子どもの絵本や紙芝居を多く利用してもらうことをねらい、貸出冊数の上限を拡大しました。前年度との比較では、貸出冊数は全体で約20％の伸びでしたが、児童書は27％の伸びを示しています。今後も現行制度で運用し、予約制度と併用して図書館資料の有効活用を図りたいと考えています。

## 意見❸ ■学校に関する意見

学校での朝の読書の実施状況や学校図書館の蔵書数、貸し出し実績、開放時間、学校図書館司書はいるのかなどを具体的に知りたい。

●市の考え方

計画の策定にあたり、「学校図書館の現状調査」を行って学校などの現状と課題・具体的な取り組みを記述しましたが、校名などは記述していません。ご意見を踏まえ、この調査でまとめた各小中学校の現状の一覧表を追加します。しかし、ご指摘の「朝の読書の具体的な取り組み方法」「学校図書館の貸出実績」などは調査項目には入っていませんのでご了承ください。(下線部について計画案を修正しました。)

## 意見❹ ■計画全体に関する意見

計画(案)は多岐に渡って書かれ、子どもが本に出会う機会を増やそうという取り組みについてはよくわかるが、どう評価し、次につなげていくかが不明確なのではないか。

●市の考え方

子どもの読書活動の推進度合を表す指標を設定し、それをどう評価するかは大変難しいと思います。この計画では、家庭・地域、図書館・学校などが子どもの読書を推進するための具体的な取り組みを62項目設定し、現状値と目標値を掲げています。「市民と関係機関が一体となり、次代を担う子どもたちのすこやかな成長」のために、目標値に向けてこれらの取り組みを地道に実行していくことが大切であると考えます。

寄せられたすべてのご意見とそれに対する市の考え方は、中央図書館、市政情報コーナー、中央及び地区公民館で閲覧できます。また、市ホームページにも掲載しています。

●問い合わせ　中央図書館(☎〈76〉6111)



特集 安城市の雨水対策

# 市内3流域の浸水対策

市街地を中心とした3つの流域(大山田・勢井前川・追田川流域)で実施した浸水対策をご紹介します。

## 大山田流域

大池調整池
大池の水位をポンプで低下させ、雨水を貯留できる構造へ改修しました。
貯留容量２万6700㎥／平成18年度竣工

大池公園調整池
公園の地下に貯留します。
貯留容量3000㎥／平成14年度竣工

## 追田川流域

細田公園調整池
グランドの地下に貯留します。
貯留容量1200㎥／平成14年度竣工

前ページで紹介した追田川調整池も追田川流域の浸水対策として造りました。

## 勢井前川流域

宮前ポンプ場
口径400㎜の３台の排水ポンプで安城町宮前地区の雨水を強制排水します。
平成17年度竣工

秋葉公園調整池
プールの跡地に造りました。
貯留容量3170㎥／平成13年度竣工

## わが家でできる雨水対策

雨水をためる水槽を設けたり、水が染み込む舗装をしたりするなど、雨水対策として皆さんのご家庭でできることがたくさんあります。

特に市販雨水貯留槽は平成15～17年度に市内で16件が設置され、１万４０００ﾘｯﾄﾙの貯留が可能になりました。

雨水貯留浸透施設の設置に対して市は補助金を交付していますので、ぜひご活用ください。

■雨水貯留浸透施設
①既存浄化槽転用雨水貯留槽
②市販雨水貯留槽
②雨水浸透ます
③雨水浸透管
④浸透Ｕ型側溝
⑤透水性舗装

**問い合わせ**▼①は下水道管理課、②～⑤は土木課